

令和4年度 数学 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
β 数学B	数学B	2	A B C D ▼ ▼ ▼	3	必修選択	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	選択授業
教科書	改訂版 高等学校 数学B, 数研出版
使用教材等	改訂版 教科書傍用クリアー 数学Ⅱ+B 改訂版 クリアー数学B 完成ノート 平面上のベクトル、空間のベクトル、数列 増補改訂版 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B

科目の目標・内容等

学習目標	ベクトル、数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
学習における留意点	予習・復習・宿題を確実にやり、授業を通して学習内容の定着を図る。
予習・復習	予習:教科書、復習:クリアー数学B
評価方法	定期考査・平常点・提出物・課題テスト等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	第1章 平面上のベクトル 第2章 空間のベクトル	ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現できるようにする。 直線や円のベクトル方程式について理解する。とくにベクトル方程式については、媒介変数表示と関連させて理解する。また、それらを活用する力を養う。 平面上のベクトルを拡張し、空間のベクトルへ発展させる。	・基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 ・定期考査 ・授業の参加姿勢や態度 ・提出物 ・小テスト
2	第3章 数列	数列の表し方、数列の概念について理解する。等差数列、等比数列の一般項およびその和について理解する。自然数の和、自然数の平方の和、自然数の立方の和を求められるようにする。記号 Σ について、理解し、利用できるようにする。階差数列を用いて一般項を求める方法について理解する。工夫して、いろいろな数列の和を求められることができるようにする。二項間の漸化式について、その式の意味を理解し、一般項を求められるようにする。数学的帰納法について理解し、活用できるようにする。	・基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 ・定期考査 ・授業の参加姿勢や態度 ・提出物 ・小テスト
3	数学Ⅲ 第1章 複素数平面	複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。複素数平面、複素数の極形式、ド・モアブルの定理、複素数と図形などの理解を深め、ベクトルとの関連性を考察する。	・基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 ・定期考査 ・授業の参加姿勢や態度 ・提出物 ・小テスト

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。